

都市社連協 統一テーマ

年度	テーマ
平成25年度	「絆—私たちの輝くまちづくり ～“つなぎあい”は“にないあい”へ～
平成26年度	「我がまち意識」を次代に育む社会教育～大人・子ども全てが輝くまちづくりを目指して～
平成27年度	学び、行動する市民が創造する循環型の地域学習社会を目指して
平成28年度	市民・地域とともに高め合う 学びのまち ～みんながまなぶ いかす つながる～
平成29年度	子どもおとなも主体的に学び参加するまちづくりをめざして
平成30年度	知の共鳴～『学ぶこと』『つながること』その先へ 【理由】 ・新しい学び・文化を創造したいという人の心が芽生え、別の人の「気づき」に繋がる、またそれが連鎖していく様子を表現。 ・『学び』の多様性を受け入れ、他者を素直に受容することで『つながり』が持つ可能性を広げ、その先の新たな「気づき」に繋がるように、という思いを込めている。”
令和元年度	学びと活動の循環をつくる ～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進 【理由】 個人の学びが学びで終わるのではなく、その成果を地域の活動の中で積極的に生かすことで、人とつながるとともに、誰かの役に立っているという喜びをもたらし、より積極的にコミュニティに参画する熱意や、地域の課題解決のために新たな学びを求めるといった、持続的な学びと活動の循環をめざす。
令和2年度	開かれ つながる社会教育の推進 ～住みよい地域づくりに多様な人材と連携を～ 【理由】 地域に開かれた社会教育を推進していくことで、住民同士のつながり意識や絆が強まり、地域の学びと活動を活性化する多様な人材の活躍の後押しが期待される。そこで育つ人材とつながりによって、それぞれの地域の課題解決と、住みよい地域づくりが行われていくことを願ってこのタイトルにしました。
令和3年度	明日に向け 学びの輪を広げよう！！ ～地域の魅力 グローバル社会で再発見～ 【理由】 人生100年時代のこれからの未来に向け、社会教育＝学びあいが広がっていき、人や地域がつながっていくことが必要であると考えます。 生活様式が変わりゆく中、グローバル社会の視点を大切にしながら、人々によってはぐくまれた地域の魅力を再発見していくことを目指し、このテーマとしました。 また、令和3年度は、関東甲信越静社会教育研究大会が東京で開催されるため、東京大会のテーマと揃えております。
令和4年度	市民のニーズを活かす・つなげる社会教育 ～対話からつくろう これからの「学び」～ 【理由】 コロナ禍で、社会教育では人と人が対話をとおしてつながりあい、認め合い、課題を共有しながらよりよい方法や仕組みを作り出すプロセスを重要としていることが改めて浮き彫りになったように思います。今年度は、「対話」をキーワードに、社会教育関係者が市民の声を真摯に聴き、受けとめ、相互に関わりながらこれからの社会に必要なことを創り出していくことを目指します。
令和5年度(案)	学びが広がり 人がつながり みんなの願いでつくるまち 【理由】 学びが広がり、人の輪を広げていくなまちは目指し、地域の課題を見つけ、ともに学び育ち合う社会を目標としていきたいと思ひます。